

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ジー・モード

コード番号 2333 URL <http://www.G-mode.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮路 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 善村 賢治

TEL 03-5456-3780

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,416	5.2	22	—	35	—	38	—
21年3月期第2四半期	2,296	—	△281	—	△198	—	△200	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	336.70	—
21年3月期第2四半期	△1,773.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,527	3,917	86.4	34,561.97
21年3月期	4,656	3,908	83.8	34,478.84

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,911百万円 21年3月期 3,902百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,355	13.9	6	—	29	—	15	—	132.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 113,183株 21年3月期 113,183株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 113,183株 21年3月期第2四半期 113,183株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月7日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しておりません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間における国内携帯電話市場は依然として低迷が続く中、携帯電話端末メーカーの統合や海外市場への進出が加速する一方で、新たなビジネスチャンス開拓に向けて携帯電話事業者各社がスマートフォンの積極的な導入に踏み切ったことで、今後はAndroidやWindows Mobileなどに象徴されるオープンOS系端末とそれ以外の端末の二極化が急速に進展するものと思われます。また、携帯電話端末の2台目需要や法人需要の拡大に加え、割賦販売方式による“2年縛り”の契約満了時期が到来することで、各キャリアにおける乗り換えユーザーの獲得競争も激化しております。

一方、モバイルコンテンツ市場におきましては、今後、商用化が予定されているLTEなどの次世代高速通信によるワイヤレスブロードバンドの進化に加え、スマートフォンの普及やOSの多様化によるマルチプラットフォームの進展などにより、ネットワーク環境や携帯端末の変化に対応する新たなコンテンツやサービスの創出に向けて、企業間の競争にも今後一層拍車がかかるものと思われます。

このような経営環境の下、当社企業グループは国内事業本部における安定的収益の確保と利益率の改善に向けて、集客力の強化やユーザー導線の拡張、退会率の抑止に努めるとともに、アプリ開発コストや外注コストの削減に取組みました。また、カジュアルコミュニケーション事業本部においては「わいわいサービス」へ新規コミュニティサイトを積極的に投入するとともに、公式サイトでの「無料+アイテム課金」モデルによるサイト構築に着手するなど、事業基盤の拡充と収益基盤の強化に注力いたしました。また、オープンプラットフォームサービスへの対応を強化することで、国内外における販路拡大に努めました。

なお、当社企業グループにおける事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりであります。

#### ①国内コンテンツ配信事業

当社企業グループの主力事業である国内コンテンツ配信事業におきましては、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（以下、「NTTドコモ」という。）のiモードサービスと株式会社ソフトバンクモバイル（以下、「ソフトバンクモバイル」という。）のYahoo!ケータイで展開する日本最大の月額課金公式ゲームサイト「テトリス&Getブチアプリ」をKDDI株式会社（以下、「KDDI」という。）のEZweb向けに開設し、順調に会員を増やしました。

また、NTTドコモで展開するパズル専門サイトをソフトバンクモバイル向けに新ブランド名「アタマスイッチ！」として開設し、下期においてはNTTドコモ、KDDI向けにも統一ブランドのパズルサイトとして開設を予定しております。

3キャリアで展開する対戦系専門サイト「対戦ぐるじゃむ」では、「TETRIS LEAGUE（テトリスリーグ）」が引き続き好調で、当第2四半期（3ヵ月間）でリアルタイムのオンライン対戦数が1000万対戦を数え、本サイトの売上拡大に貢献しました。

この結果、本事業セグメントの売上高は1,187百万円となり、前年同期比8.1%の増加となりました。

#### ②カジュアルコミュニケーション事業

カジュアルコミュニケーション事業では、複数の無料ケータイサイトが有機的に繋がる複合エンタメ・コミュニティサービス「わいわいサービス」において、女性向け戦国コミュニティゲームサイト「戦国☆パラダイス」、学生のためのコミュニティサイト「わいわいecofull」、写真で遊べるコミュニティサイト「写メコミ」、待ち受け配信サイト「まちうけケータイ少女」など、計9サイトを新たに投入し、サービスの拡充を図ることにより、会員数は当第2四半期末で10万人を突破しております。

この結果、本事業セグメントの売上高は人気家庭用ゲーム機「Wii(R)」のゲームダウンロードサービス「WiiウェアTM」向け配信や公式電子コミックサイトによる売上も含め9百万円となり、前年同期比478.8%の増加となりました。

#### ③海外事業

海外におけるゲームコンテンツ配信におきましては、オープンプラットフォームであるNokiaの携帯電話向けアプリケーションストア「Ovi Store」向けに当社の人気ソリティアゲームパック「10 Solitaires in 1」の配信を開始するとともに、iPhone向けには「ケータイ少女」のキャラクターが登場するソリティアゲーム「Keitai Shoujo Solitaire」シリーズ3タイトル（「Spider」・「FreeCell」・「Klondike」）と名作アクションパズル「Magical Drop Touch」の配信を開始いたしました。

この結果、本事業セグメントの売上高は11百万円と前年同期比67.7%の減少となりますが、これは前第2四半期会計期間において、売上高の計上が一時的に集中したことによるものであります。

#### ④その他の事業

その他の事業におきましては、開発受託案件に加え、DSiウェアTMによる「空気読み。DS」の配信や株式会社アコースティックの動画ソフトウェア（movie4u）などのライセンスビジネスなどが売上に寄与いたしました。

この結果、本事業セグメントの売上高は36百万円となり、前年同期比81.0%の増加となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は1,245百万円となり、前年同期比7.7%の増加となりました。損益面におきましては、当期製造原価ならびにサイト運営費、ライセンス使用料などが減少したことにより、営業利益は1百万円となり、売上高営業利益率は0.1%と14.2ポイント改善しました。さらに、受取利息を計上したことなどにより、経常利益は9百万円、四半期純利益は8百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年8月6日開示）をご参照ください。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

#### ① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末より129百万円減少（前期末比2.8%減）し、4,527百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より62百万円減少（前期末比1.7%減）し、3,683百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少72百万円、受取手形及び売掛金の減少40百万円、仕掛品の増加135百万円、その他の構成科目である前渡金の減少25百万円、為替予約の減少37百万円であります。固定資産は前連結会計年度末より66百万円減少（前期末比7.3%減）し、843百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による増加86百万円、有形固定資産及び無形固定資産の償却による減少27百万円、投資その他の資産のその他の構成科目である敷金の減少108百万円であります。

#### ② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より138万円減少（前期末比18.6%減）し、609百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の減少42百万円、事業構造改革引当金の減少64百万円であります。

#### ③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より9百万円増加（前期末比0.2%増）し、3,917百万円となりました。主な要因は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加38百万円、繰延ヘッジ損益の減少27百万円であります。なお、繰越利益剰余金の欠損補填を目的として資本剰余金2,427百万円を利益剰余金へ振替えております。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,964百万円（前年同期末2,068百万円）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、103百万円の資金使用（前年同期140百万円の資金使用）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益43百万円、減価償却費の計上27百万円、事業構造改革引当金の減少額64百万円、たな卸資産の増加額136百万円、前渡金の減少額25百万円であります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、30百万円の資金獲得（前年同期127百万円の資金使用）となりました。主な要因は有形固定資産取得による支出89百万円、敷金差入による支出60百万円、敷金の回収による収入162百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入16百万円であります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金については、重要なものはありません。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年10月28日に公表いたしました通り、第2四半期連結累計期間での業績予想を修正しましたが、平成21年5月7日に公表いたしました通期の業績予想の変更はしておりません。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため、記載を省略しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,982,000	2,054,479
受取手形及び売掛金	1,282,693	1,322,828
商品及び製品	7,559	—
仕掛品	254,195	118,410
原材料及び貯蔵品	26	7,777
未収還付法人税等	713	4,540
繰延税金資産	861	824
その他	162,505	244,608
貸倒引当金	△6,888	△7,009
流動資産合計	3,683,667	3,746,460
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	81,293	4,485
工具、器具及び備品（純額）	23,689	28,329
有形固定資産合計	104,983	32,815
無形固定資産		
のれん	62,588	67,804
その他	35,969	48,599
無形固定資産合計	98,558	116,403
投資その他の資産		
投資有価証券	34,653	37,730
長期貸付金	477,000	477,000
破産更生債権等	1,493,481	1,495,000
繰延税金資産	2,816	1,611
その他	125,851	243,311
貸倒引当金	△1,493,481	△1,493,481
投資その他の資産合計	640,320	761,171
固定資産合計	843,862	910,389
資産合計	4,527,530	4,656,850

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	257,214	300,002
未払法人税等	11,839	8,943
繰延税金負債	213	15,319
事業構造改革引当金	—	64,867
その他	340,380	356,024
流動負債合計	609,648	745,158
固定負債		
繰延税金負債	—	3,459
固定負債合計	—	3,459
負債合計	609,648	748,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,320,723	3,320,723
資本剰余金	551,066	2,978,396
利益剰余金	42,626	△2,422,812
株主資本合計	3,914,416	3,876,307
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,900	△1,261
繰延ヘッジ損益	311	27,372
評価・換算差額等合計	△2,589	26,111
少数株主持分	6,054	5,813
純資産合計	3,917,881	3,908,232
負債純資産合計	4,527,530	4,656,850

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,296,680	2,416,192
売上原価	1,595,667	1,410,121
売上総利益	701,013	1,006,071
販売費及び一般管理費	982,982	983,760
営業利益又は営業損失(△)	△281,968	22,310
営業外収益		
受取利息	68,899	11,491
持分法による投資利益	3,410	—
為替差益	1,363	—
その他	9,684	3,169
営業外収益合計	83,358	14,660
営業外費用		
為替差損	—	842
投資事業組合運用損	—	844
営業外費用合計	—	1,686
経常利益又は経常損失(△)	△198,610	35,283
特別利益		
関係会社株式売却益	—	8,189
特別利益合計	—	8,189
特別損失		
固定資産除却損	254	82
和解金	750	—
特別損失合計	1,004	82
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△199,614	43,390
法人税、住民税及び事業税	11,285	6,283
法人税等調整額	△10,737	△1,242
法人税等合計	547	5,040
少数株主利益	556	240
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△200,719	38,109

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,156,356	1,245,124
売上原価	834,239	716,599
売上総利益	322,116	528,524
販売費及び一般管理費	485,559	527,130
営業利益又は営業損失(△)	△163,442	1,394
営業外収益		
受取利息	35,130	5,656
持分法による投資利益	5,426	—
未払配当金除斥益	—	2,603
その他	8,337	110
営業外収益合計	48,894	8,370
営業外費用		
為替差損	1,291	331
営業外費用合計	1,291	331
経常利益又は経常損失(△)	△115,839	9,432
特別損失		
固定資産売却損	—	23
特別損失合計	—	23
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△115,839	9,409
法人税、住民税及び事業税	1,965	1,803
法人税等調整額	2,124	△881
法人税等合計	4,090	922
少数株主利益又は少数株主損失(△)	172	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120,101	8,488

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△199,614	43,390
減価償却費	30,023	27,538
のれん償却額	5,252	5,215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△392	△121
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	—	△64,867
受取利息及び受取配当金	△68,899	△11,491
為替差損益(△は益)	234	289
持分法による投資損益(△は益)	△3,410	—
投資事業組合運用損益(△は益)	—	844
固定資産除却損	254	82
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△8,189
和解金	750	—
売上債権の増減額(△は増加)	37,679	6,395
たな卸資産の増減額(△は増加)	50,175	△136,562
前渡金の増減額(△は増加)	△118,556	25,168
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,649	△22,876
未払金の増減額(△は減少)	△46,667	△28,763
その他	△4,880	53,412
小計	△376,701	△110,534
利息及び配当金の受取額	69,038	12,293
和解金の支払額	△750	—
法人税等の還付額	189,276	4,562
法人税等の支払額	△21,325	△9,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	△140,461	△103,158
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,600	△600
有形固定資産の取得による支出	△2,329	△89,106
無形固定資産の取得による支出	△15,120	△203
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
敷金の差入による支出	—	△60,621
敷金の回収による収入	—	162,602
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	16,341
その他	919	2,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,130	30,524
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△381	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△381	△154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△234	△289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△268,208	△73,078
現金及び現金同等物の期首残高	2,336,565	2,037,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,068,356	1,964,833

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	国内コンテンツ配信事業 (千円)	カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	海外事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,099,359	1,567	35,092	20,337	1,156,356	—	1,156,356
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	4,365	4,365	(4,365)	—
計	1,099,359	1,567	35,092	24,702	1,160,721	(4,365)	1,156,356
営業利益又は営業損失 (△)	115,051	△82,332	△12,562	1,467	21,624	(185,066)	△163,442

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	国内コンテンツ配信事業 (千円)	カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	海外事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,187,905	9,071	11,331	36,816	1,245,124	—	1,245,124
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	420	420	(420)	—
計	1,187,905	9,071	11,331	37,236	1,245,544	(420)	1,245,124
営業利益又は営業損失 (△)	273,295	△85,670	△8,042	△11,196	168,386	(166,991)	1,394

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	国内コンテンツ配信事業 (千円)	カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	海外事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,190,963	5,144	52,765	47,807	2,296,680	—	2,296,680
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	4,365	4,365	(4,365)	—
計	2,190,963	5,144	52,765	52,172	2,301,045	(4,365)	2,296,680
営業利益又は営業損失 (△)	326,755	△187,454	△22,121	12,318	129,497	(411,466)	△281,968

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	国内コンテンツ配信事業 (千円)	カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	海外事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,314,221	11,226	23,228	67,517	2,416,192	—	2,416,192
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	840	840	(840)	—
計	2,314,221	11,226	23,228	68,357	2,417,032	(840)	2,416,192
営業利益又は営業損失 (△)	560,073	△162,536	△11,483	△5,838	380,213	(357,903)	22,310

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、サービスの系列性、市場の類似性等を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
国内コンテンツ配信事業	携帯電話向けゲームコンテンツ及び着メロの企画・開発・運営
カジュアルコミュニケーション事業	携帯電話一般サイトや各種メディアデバイス等を利用したインターネットカジュアルコミュニティサービスの企画・開発・運営
海外事業	携帯電話向けゲームコンテンツの配信及びライセンス供与等
その他の事業	携帯電話向けゲームコンテンツ、動画配信ツール及び着メロ制作ツールのライセンス供与等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年5月21日の取締役会決議に基づき、繰越利益剰余金の欠損填補を目的として資本剰余金2,427,330千円を利益剰余金に振替えております。

## 6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
国内コンテンツ配信事業 (千円)	146,345	61.5
カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	17,493	—
海外事業 (千円)	9,448	51.4
その他の事業 (千円)	28,746	168.8
合計 (千円)	202,034	73.9

- (注) 1. 金額は、当期製品製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注実績

当社企業グループは、一部受注生産を行っておりますが、販売実績に占める受注販売実績割合の重要性が乏しいため記載を省略しております。

### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
国内コンテンツ配信事業 (千円)	1,187,905	108.1
カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	9,071	578.8
海外事業 (千円)	11,331	32.3
その他の事業 (千円)	36,816	181.0
合計 (千円)	1,245,124	107.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

なお、NTTドコモ、KDDI及びソフトバンクモバイルに対する販売実績は、当社企業グループがNTTドコモのiモード、KDDIのEZweb及びソフトバンクモバイルのYahoo!ケータイを介して行う有料情報サービスの利用者（一般ユーザー）に対する情報料の総額であります。

相手先	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
NTTドコモ	724,077	62.6	778,238	62.5
KDDI	225,726	19.5	244,250	19.6
ソフトバンクモバイル	81,807	7.1	104,214	8.4

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。